

伊万里市の台所事情 これまでとこれから

伊万里市財政健全化計画 (平成16年度～20年度)

～市民との協働による財政危機の回避と、
豊かな地域を支える財政基盤の確立～

伊万里市の厳しい台所事情

一般家庭に例えると・・・

(1億円を1万円に置き換え、伊万里市の財政状況を見てみると・・・)

200万円の自動車ローンを抱えた月収12万円の家庭が、毎月2万円のローン返済と、同額の新しい借金をしながら家計をやりくりしている状態

加えて

不景気が続くなか、会社(国)の経営も悪化
給料(税収)もボーナス(地方交付税、補助金)も減る一方

収入が毎年減るなかで、
これまでどおりの
生活続けると・・・!

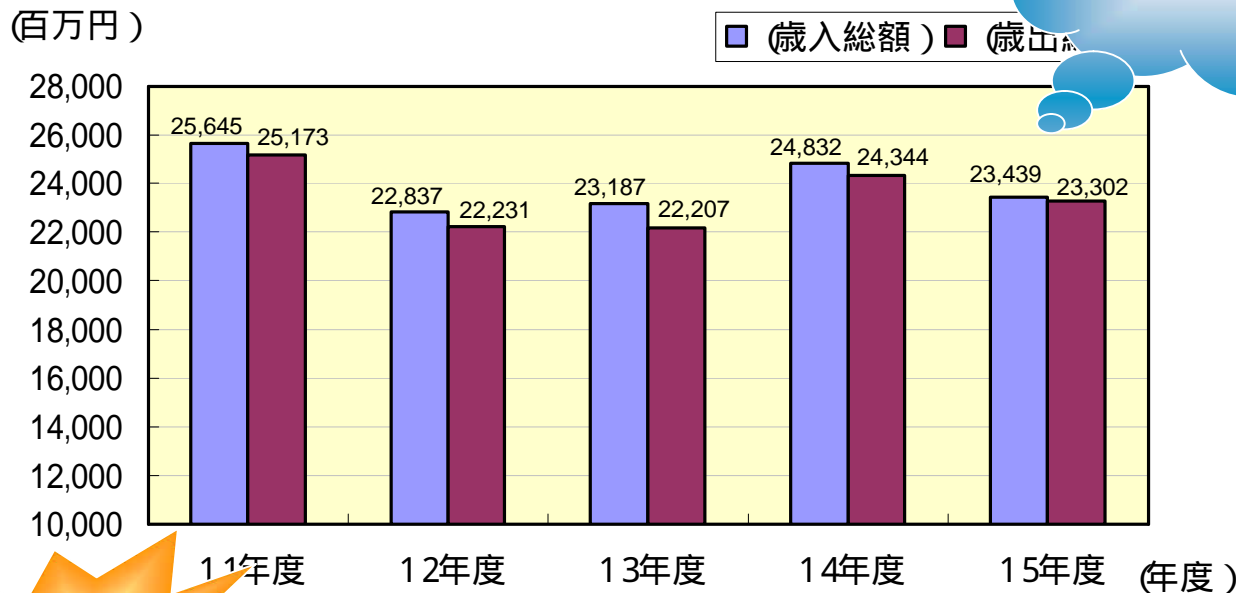
借金だけが膨らみ
生活そのものができなくなる
(市で言うなら、市民サービスができなくなる)

伊万里市の家計簿（財政の現状）

単純な収支は黒字をキープ

H15はなんとか
1億4千万円の
黒字

一般会計歳入・歳出の推移（平成11年度～15年度）



しかし

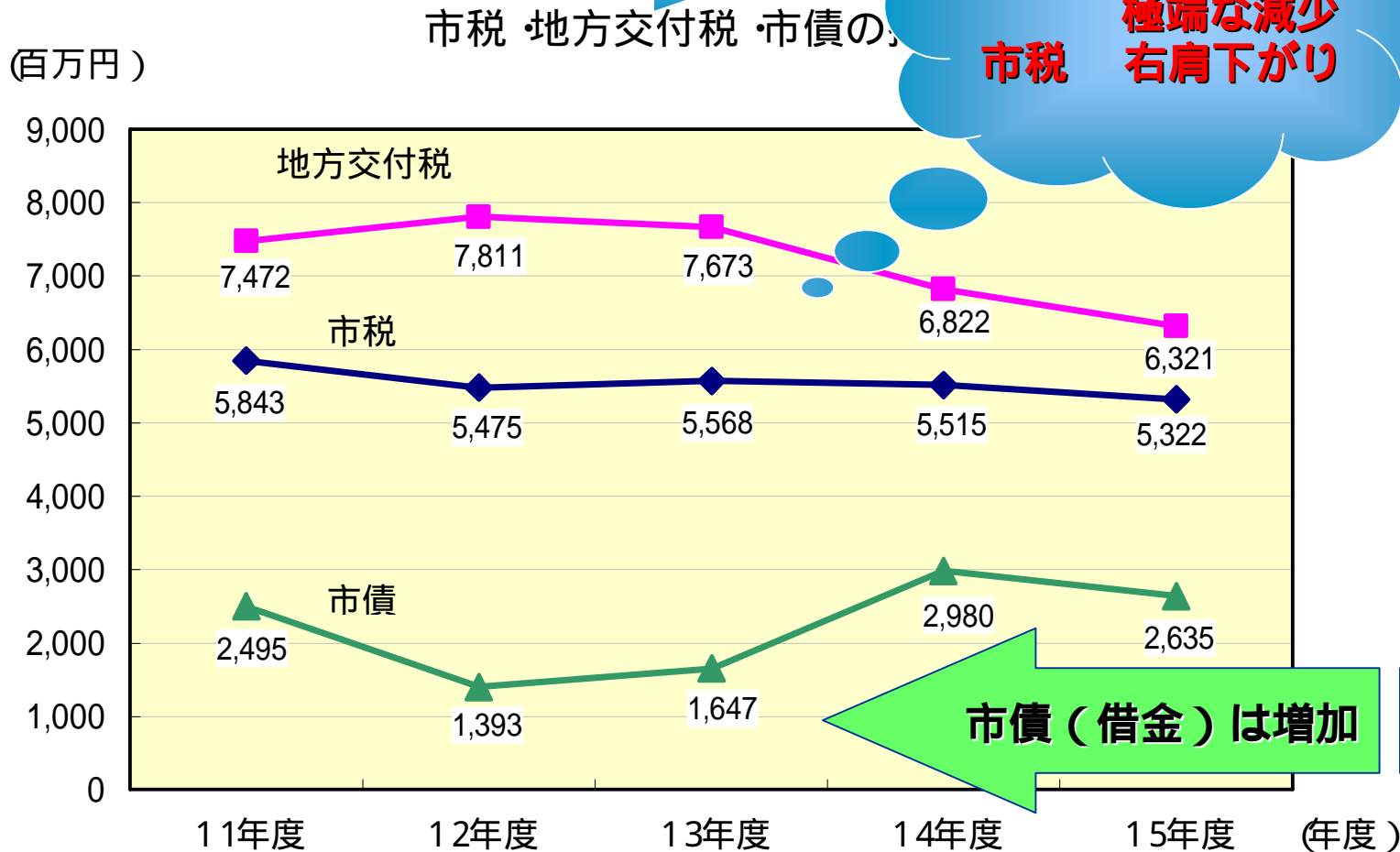
貯金を使わなかったら

H11	H12	H13	H14	H15
18	128	223	257	258

【収入の主なもの】

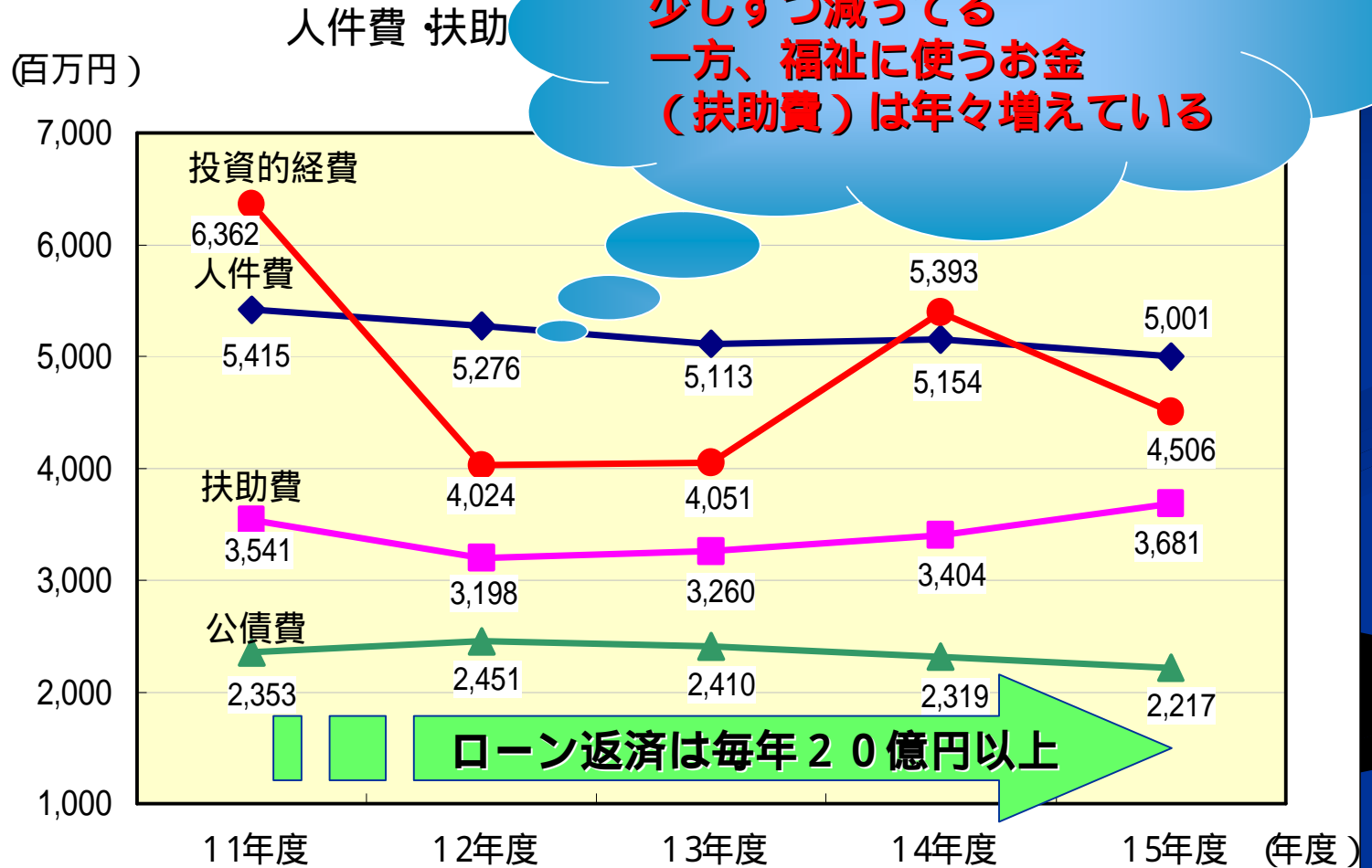
不景気や国の改革が原因

地方交付税
市税
極端な減少
右肩下がり



【支出の主なもの】

市役所の給料（人件費）が
少しずつ減ってる
一方、福祉に使うお金
（扶助費）は年々増えている

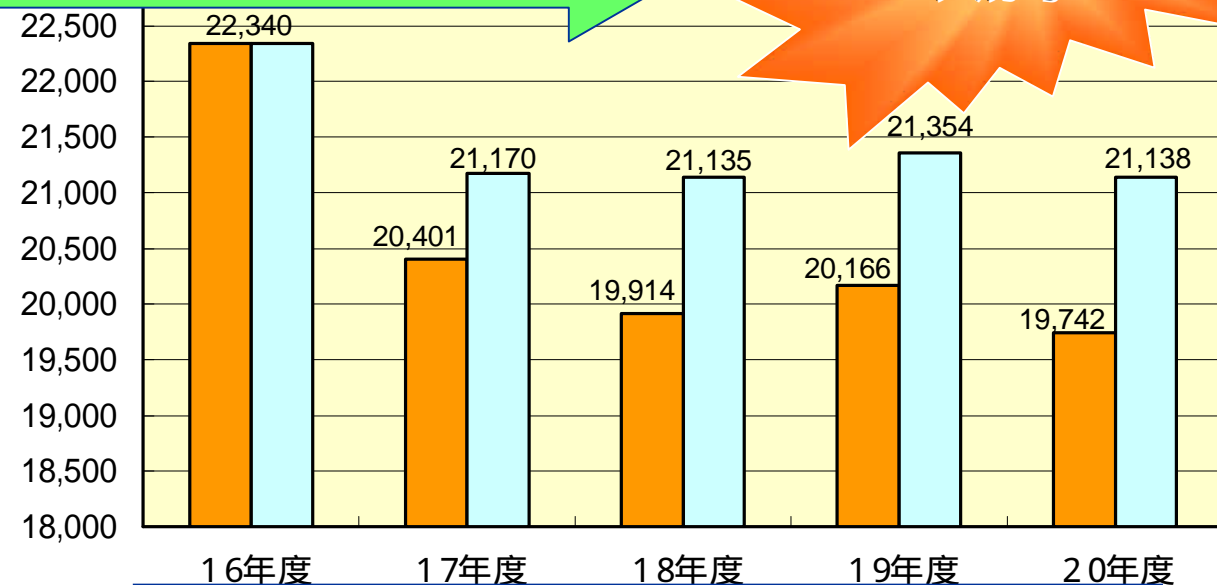


このまま何もしないでいると・・・（財政収支見通し）

一般会計歳入・歳出総額の見通し
(平成16年度～20年度)
(百万円)

平成20年度までの累計で

45億7千万円の
大赤字



このままでは
「財政再建準用団体」への転落も心配

内 容	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	合 計
収支不足額	0	769	1,221	1,188	1,396	4,574

(単位：百万円)

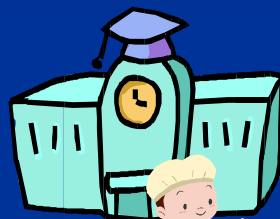
しかし、行政の責任として やらなければならないことがある！（健全化の必要性）

障害者、高齢者、子育て支援など
福祉施策の充実



学校教育や社会教育の充実

更新期の学校、公民館の建替
新給食センター建設



環境センター
の施設維持



農林水産業・商工業の振興
伊万里湾開発事業の推進

子どもたちに託す将来の伊万里市発展の礎となる財政基盤の建て直しが必要
中期的な展望に立った 財政健全化計画」を策定

財政健全化計画で具体的に実施すること (平成16年度～20年度)

市役所（職員）の自助努力による健全化の方策

人件費の削減

(6億5千万円)

- ・ H17から職員数を抑制 原則として退職者不補充 (H17～H20)
- ・ H17から給与・報酬を対象に削減を検討、実施



市税・保育料の収納率アップ

(7億6千万円)

- ・ 市税の収納率を5年間で1%アップ (97.3% → 98.3%)
- ・ 保育料収納率の向上 H15実績 (98.2%) 収納率99%を目標



その他の方策

(6千7百万円)

- ・ H17から県内出張に係る日当を廃止
- ・ 市庁舎冷暖房費の節減 H16 前年度の80% H17～ H15実績の50%
- ・ H17から職員駐車場を有料化

月額	1,000円
対象者	市施設に通勤している全ての職員 (特別職、嘱託職員、臨時職員を含む)



市民の皆さんに、ご負担・ご協力をお願いする健全化の方策

市税の見直し

(5 億 4 百万円)

- ・ 地方税法の改正による個人住民税の見直し
- ・ H17から入湯税を新設 (宿泊150円・日帰り50円 / 回 / 人)
- ・ H18から新地積課税を実施



分担金の見直し

(8 百万円)

- ・ 県単さが農業農村整備事業 (H17から補助残の半分を分担)
- ・ ため池災害防止事業 (H17から事業費の15% (現行10%))

使用料の見直し

(9 千 3 百万円)

- ・ H17から道路、公有水面等占用使用料を国並み単価へ
- ・ H17から公共施設 (公民館、体育施設等) 使用料の引上げ
- ・ 公立幼稚園保育料、預かり保育料の段階的な引上げ
保育料 H16 : 6,000円 / 月 H18 : 8,000円 / 月 H20 : 10,000円 / 月
預かり H16 : 200円 / 日 H18 : 300円 / 日 H20 : 400円 / 日
- ・ 留守家庭児童クラブ使用料の段階的な引上げ
現行 : 2,500円 / 月 H18 : 3,500円 / 月 H21 : 4,000円 / 月



手数料の見直し

(2 千 8 百万円)

- ・ H17 から一般廃棄物処理手数料を有料化

家庭系ごみ 無料 100kgまで250円 (以降50kg毎125円)

事業系ごみ 200kgまでごとに800円 100kgまで500円 (以降50kg毎250円)



補助金等の見直し

(3 億 9 百万円)

- ・ H17 から市税全期前納報奨金の率を半分に縮減

現行 : 28/100 28/200

- ・ 補助金の縮減 「補助金交付の見直し指針」に基づき廃止妥当な補助金は原則廃止
既設の補助金で廃止できないものは段階的に縮減

福祉経費の見直し

(1 億 2 千万円)

- ・ H16 から母子家庭等医療費助成で本人負担 (5 0 0 円 / 月) を徴収
- ・ 市立の保育園 (6 園) の段階的な民営化・統廃合を検討・推進



下水道料金の見直し

(1 億 8 千万円)

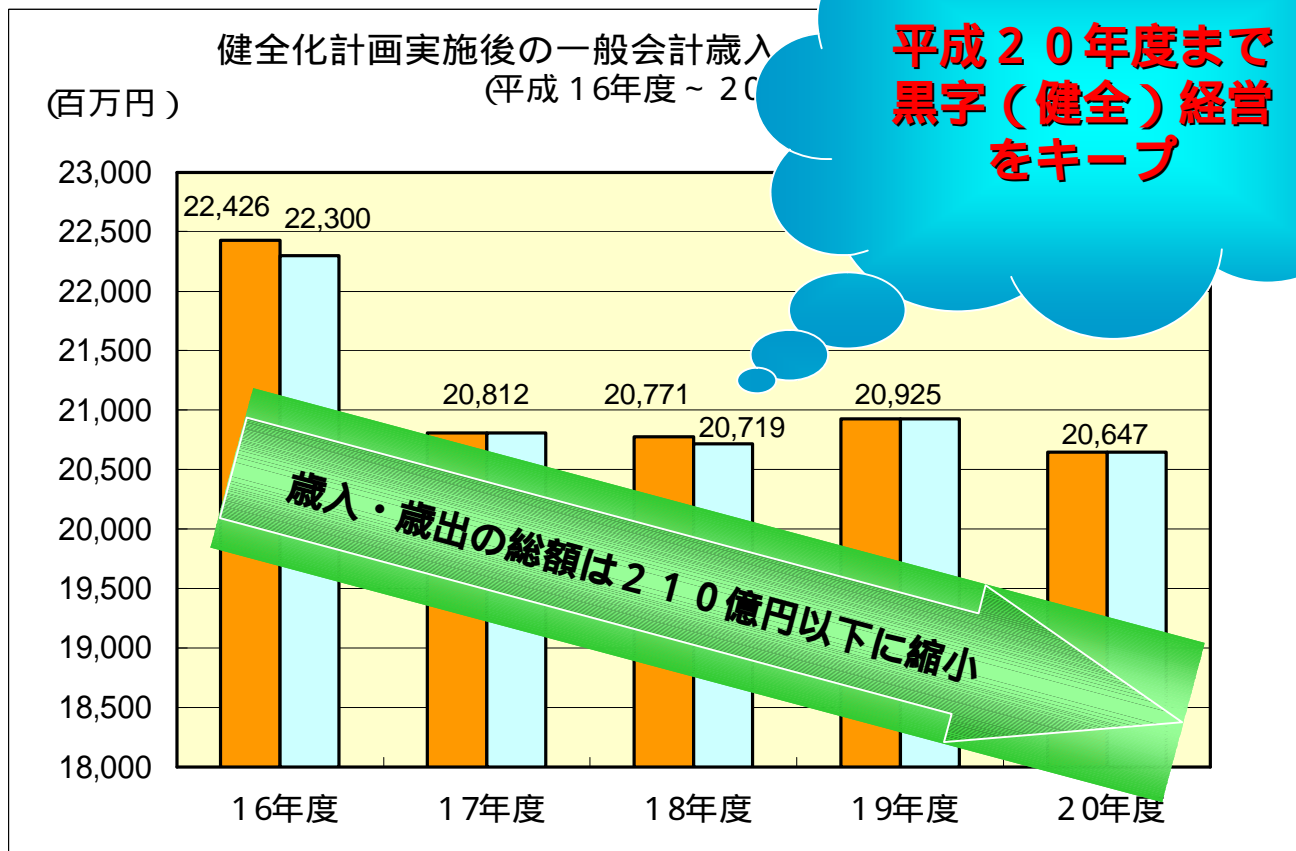
	現 行
5 m ³ まで	8 0 0 円
1 0 m ³ まで	9 5 0 円
1 0 ~ 2 0 m ³ まで	1 2 0 円
2 0 ~ 5 0 m ³ まで	1 8 0 円
5 0 m ³ ~	2 3 0 円

H17 ~ 見直し



見直し後
9 6 0 円
1 , 1 4 0 円
1 4 0 円
1 9 0 円
2 3 0 円

健全化を実施した後の姿



(単位：百万円)

内 容	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	合 計
差引収支額	126	0	52	0	0	178

健全化計画の実施に向けて

次世代を担う子どもたちに、
将来の伊万里を受け継いでいくため



将来にわたり発展し、
豊かな地域を支えていくため



大切なこと



市民と行政が協力し、一丸となって
強い信念のもと計画的に
かつ着実に実行する

結果

これからも
伊万里市は大丈夫